



## DSO懇話会の開催について

- 【日 時】 2023年2月22日（水）13:30~15:30
- 【行事名】 令和4年度 第2回 DSO懇話会
- 【対 象】 DSO参加機関
- 【場 所】 オンライン（Microsoft Teams）

今年度第2回のDSO懇話会を上記日程で開催を予定しております。参加申込に関しましてはDSO事務局までお問合せください。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインにて実施予定です。当日は活発な意見交換の場となるよう努めてまいります。

### 【募集テーマ】

- ① 育児・介護中における補助員の雇用支援について
- ② 「くるみんプラス」の取得に向けた取り組みや予定について
- ③ 女性職員の採用数を増やすための取り組みについて
- ④ 男性職員の育児参画を支援する取り組みや育休取得率の公表について

## DSO参加機関からの開催・参加報告

### ■ 森林研究・整備機構 森林総合研究所

### 第40回ダイバーシティ推進セミナー「性の多様性とジェンダー統計」

- 【日 時】 2022年12月20日（火）
- 【行事名】 第40回ダイバーシティ推進セミナー
- 【題 名】 性の多様性とジェンダー統計
- 【場 所】 森林総合研究所  
(対面式・テレビ会議+録画配信)

森林機構ダイバーシティ推進本部では現在、埼玉大学ダイバーシティ推進センターの菅野摂子先生にアドバイザーを務めていただいています。今回、菅野先生につくばまでお越しいただき、対面+テレビ会議システムにてご講演いただきました。

講演ではジェンダーの概念や統計調査などについて、日本と諸外国との違いなどを分かりやすく解説していただき、多くの参加者が熱心に聞き入っていました。また、講演後には当機構・ダイバーシティ推進室へのアドバイスなどもいただき、大変有意義なセミナー開催となりました。

なお、詳細については森林総研ダイバーシティ推進室のウェブサイト（下記）をご参照ください。

[https://www.ffpri.affrc.go.jp/geneq/chishiki/sympo/shonai\\_sem/40sem/houkoku.html](https://www.ffpri.affrc.go.jp/geneq/chishiki/sympo/shonai_sem/40sem/houkoku.html)



森林研究・整備機構 森林総合研究所 第40回ダイバーシティ推進セミナー

### 性の多様性とジェンダー統計

講演概要  
「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」いわゆる「女性活躍推進法」が公布されて8年目に入った。10年間の時限立法として成立した同法は残りあと3年となるが、さまざまな統計資料をみると、特に女性研究者支援では芳しい成果を上げたとは言えない。一方で、性の多様性が望まれ、男女で分けること自体が問題だという主張もある。これまで、男女差別を是正するために使われてきたジェンダー統計の前提は男女というふたつの性別であった。ダイバーシティを考える際に重要な「性の多様性」と男女で切り取られた二分法の性別は両立できないのだろうか。皆さんと一緒に考えたい。

講師  
ダイバーシティ推進アドバイザー  
埼玉大学ダイバーシティ推進センター 准教授  
**菅野 摂子氏**

場 所  
研究所大会議室  
解析棟セミナールーム  
(テレビ会議・録画あり)

日 時  
**2022.12.20 火**  
13:30~15:00

<講師プロフィール>  
現在、現任埼玉大学ダイバーシティ推進センター 准教授、社会学、ジェンダー、生殖、出生前検査、福祉、家族について研究。2013年11月から2017年3月まで電気通信大学 男女共同参画・ダイバーシティ戦略室 特任准教授を経て、2017年4月より現在まで明治学院大学 社会学部付属研究所 研究員、立教大学 社会福祉研究所 特任研究員を併任されている。

e-ラーニング (Glexa)でのアンケートの回答にご協力ください

ダイバーシティ推進室 問合せ先 森林総合研究所 ダイバーシティ推進室 内線 8360  
Email: [geneq@ffpri.affrc.go.jp](mailto:geneq@ffpri.affrc.go.jp)





## DSO参加機関からの開催・参加報告

### ■ 森林研究・整備機構 森林総合研究所

### つくば市男女共同フォーラム「ミンナのつどい」2022

【日 時】 2022年12月4日（日）  
【行事名】 つくば市男女共同フォーラム  
「ミンナのつどい」2022  
【場 所】 つくば市役所  
【主 催】 つくば市

昨年12月につくば市の主催で「ミンナのつどい」が開催され、森林総研から2名が参加してきました。このフォーラムはここ2年ほどコロナ禍の影響で開催が見送られましたが、それまで森林総研はほぼ毎年参加し、ポスター発表等を行っています。今回も森林総研・森林機構で行っているダイバーシティ推進についてパネル展示を行い、また同時に開催された講演会にも参加してきました。興味深い講演に耳を傾け、ほかの団体の取組を知るよい機会となりました。

なお、参加報告の詳細については森林総研ダイバーシティ推進室のウェブサイト（下記）をご覧ください。

[https://www.ffpri.affrc.go.jp/geneq/chishiki/outside\\_sympo\\_archives/sankahoukoku/2022/1204tsukuba\\_minna.html](https://www.ffpri.affrc.go.jp/geneq/chishiki/outside_sympo_archives/sankahoukoku/2022/1204tsukuba_minna.html)



### ■ 産業技術総合研究所

### ワーク・ライフ・バランス(WLB)ランチ会 「男性研究職の育休、実際どうなの？」

【日 時】 2022年12月20日（火）  
【行事名】 ワーク・ライフ・バランス(WLB)ランチ会「男性研究職の育休、実際どうなの？」  
【場 所】 産業技術総合研究所 オンライン (Zoom)

産総研ではWLBに関連する情報交換の場としてランチ会を定期開催しています。今回は男性研究職の育休取得経験者を5名招待し、これから子供が生まれる方や妊娠中の女性研究者など合計20名以上でざっくばらんに意見交換を行いました。育休の取得期間については育休取得経験者から「1ヵ月間は最低限必須で、3ヵ月間くらいは必要ではないか」「2ヵ月間取得したことで子育てという仕事の基礎を覚えられた」「夫婦で交代で育休取る場合では、最低でも2週間程度は重複させた方がいい」といった声が聞かれました。（次ページへ続く）





(前ページからの続き)

また、研究業務とのバランスについては、「半年以上前から上司と相談し準備した」「ちょうど年度切り替え時期と重なり、多くの業務を上司や同僚に任せてしまい心苦しかった」「職場に全く迷惑をかけないで育休取得は難しい。そこは完璧を目指さずに関係者への丁寧な説明と理解を得る方がいい」「育休期間はどうしても研究が滞ってしまう。家庭内でよく話し合いをして取り方を工夫した方がいい」「育休取得に対して上司の理解を得るのに苦労した」といった声が聞かれました。

どうしたら男性の育休取得が増えるかといった質問には、「なかなか増えないのは同じ職場や研究職の取得事例を知る機会が少ないから。事例が広まるよう周知していくことが必要」といった意見がありました。

今回、招待した育休取得経験のある男性研究職の方全員が「育休を取得して良かった」「このような情報交換会にはぜひ参加して経験を次の方に伝えたい」として、積極的にランチ会へ参加していただきました。今後も引き続きこのような情報交換会を開催することの必要性を実感するよい機会となりました。

## 事務局からのお知らせ

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、そこで働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして発行しております。掲載を希望する記事がありましたら、数行の記事でも結構ですので、ぜひお寄せください。

～ニュースレターにはこのような記事を掲載しています!～

- 今後開催されるシンポジウムやセミナー、講演会など、イベントのお知らせ
- 最近行われたイベントの報告、参加報告
- 最近取組中のこと、その他関連情報

また、ご連絡先の変更がありましたら、事務局へお知らせください。



産総研ありす 産総研てれす

